

空調機 IoT 遠隔監視システム対応ゲートウェイ RM-CGW2

据付工事説明書

PSZ012D045A

202109

- この据付説明書は、ゲートウェイ関連の据付方法・注意事項を記載しております。
- 室内ユニット・室外ユニット・他に付属の説明書と合わせてご覧ください。
- 正しく工事していただくために、工事前に、必ずこの説明書をよくお読みください。
- 本ゲートウェイは精密機器ですので、落としたり、踏まれたりすると破損する場合があります。お取り扱いには充分ご注意ください。

1. 安全上のご注意

- 工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
 - ⚠ 警告：誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
 - ⚠ 注意：誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。
- 本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

⊘	絶対にしないでください。	ⓘ ⓘ	必ず指示どおりに行ってください。
---	--------------	-----	------------------
- 据付工事後、試運転を行い異常が無いことを確認してください。
- 取扱説明書・製品仕様書にそってお客様に使用方法を説明してください。
- お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠ 警告

- ⓘ ● 据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。
- ⓘ ● 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。
- ⓘ ● 据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。
当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。
- ⓘ ● 必ず鍵のかかる場所に施錠して収納する。
感電や誤操作の原因となります。
- ⓘ ● 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
施工に不備があると感電、火災の原因になります。
- ⓘ ● 据付工事・修理・点検の際は、必ず電源を遮断して行う。
感電、ケガ、故障や動作不良の原因になります。
- ⊘ ● 改造は絶対にしない。
感電、火災、故障の原因になります。
- ⊘ ● 特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。
油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス(アンモニア・硫黄化合物・酸など)の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。
- ⊘ ● 大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。
感電、火災、故障の原因になります。
- ⊘ ● 洗濯室など水のかかる所では使用しない。
感電、火災、故障の原因になります。
- ⊘ ● 濡れた手で操作しない。
感電の原因になります。
- ⊘ ● 本ゲートウェイを水洗いしない。
感電、火災、故障の原因になります。
- ⓘ ● 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠ 注意

- ⓘ ● アース(接地)を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース(接地)が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。
- ⓘ ● 電源には必ず配線用遮断器を取付ける。
配線用遮断器が取付けられていないと感電の原因になることがあります。
- ⊘ ● ゲートウェイを下記場所に設置しない。
 - (1)ゲートウェイの変形・誤動作・故障の原因になる場合があります。
 - ・直射日光のあたる場所。
 - ・周囲温度が0℃以下、40℃以上になる場所。
 - ・取付面に凹凸のある場所。
 - ・取付部が十分な強度を有しない場所。
 - ・床など埃のたまりやすい場所。
 - (2)制御系統に異常を生じ、正常な運転ができない原因になることがあります。
 - ・電磁波を発生する機械がある場所。

2. 付属部品

ゲートウェイ本体、据付説明書、丸形圧着端子(大2個、小4個)、終端抵抗(2個)

3. 据付工事

3.1 据付場所

据付場所は屋内の涼しい通風の良い場所としてください。

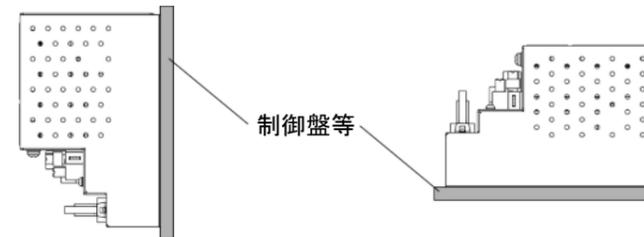
3.2 現地手配品

本ゲートウェイを据付ける前に、以下の部品を用意してください。

- ・ゲートウェイ据付用ネジ M4×4 個
- ・配線(詳細は4項参照)
- ・配線用遮断器

3.3 据付方法

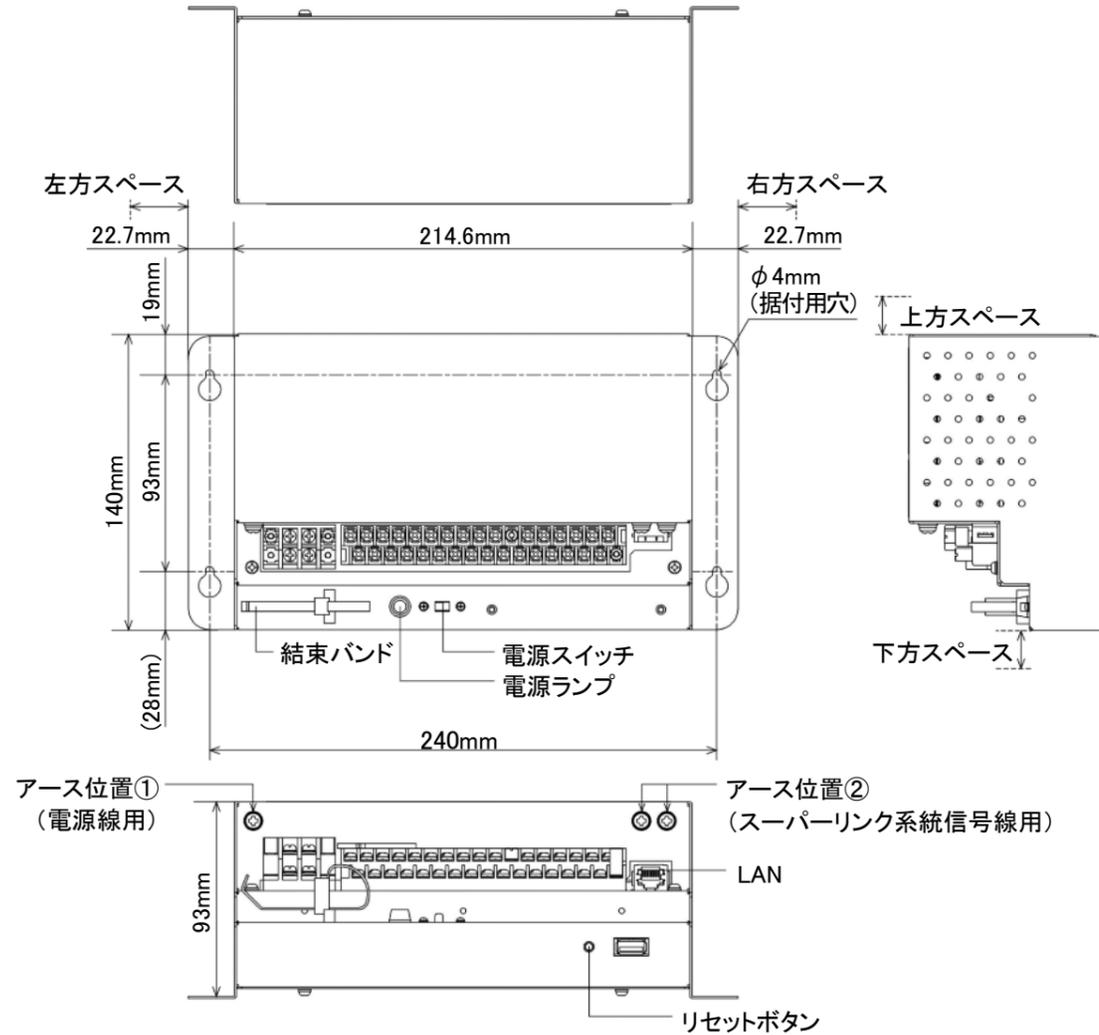
据付方向は、下図の方向で、かつ、文字が正しく読める方向に据付けてください。
これ以外の方向に据付けますと内部機器の冷却不良となり誤動作、故障の原因となる恐れがあります。



3.4 設置スペース

空気対流冷却とサービス作業のため、上下左右に下記に示すスペースを設けてください。

下方スペース	最低 100mm (200mm 以上推奨)	} 冷却用スペース 配線およびサービス用スペース
上方スペース	最低 30mm		
左側方スペース	最低 30mm		
右側方スペース	最低 30mm		



3.5 設置場所の注意事項

- 無線 LAN を使用する場合、本製品が金属で囲まれていたり、ルーターとの間に金属や鉄筋コンクリートなど電波を通しにくい物の近くに設置したりした場合は、電波ノイズの影響で通信できないことがあります。
- 電子レンジなどの電波を発する機器の近くで本製品を置くと通信できないことがあります。できるだけ離れたところに設置してください。

4. 結線要領

- 電源部端子台への配線は、必ず付属の丸形圧着端子(大)を使用してください。
- 電源(電源スイッチ)は全ての作業が終わるまで入れないでください。
- 電源は室内機室外機の電源投入後 2 分以上経過した後に入れてください。
- 付属部品以外は現地で手配してください。
- 配線時には端子台のカバーを取り外して作業を行ってください。作業終了時に、端子台のカバーを元通りに取付けてください。誤って感電することを防止するためのカバーです。
- D 種接地工事は必ず行ってください。電源線用アースは、3. 4の図中のアース位置①に配線してください。
- 電源部端子台への配線は、電源ランプ横の結束バンドで束ねて固定してください。

スーパーリンク信号線

- 0.75mm²~1.25mm² のシールド線(MVVS 2 芯)
- 1 系統あたり最大 1000m(最遠長 1000m、総配線長 1000m)
- スーパーリンク線用アースは、3. 4の図中のアース位置②に配線してください。
- (注1) 本ゲートウェイを使用する場合は、スーパーリンク信号線をシールド線にしてください。本体側のアースは、3. 4の図中のアース位置②に配線してください。
- (注2) ネットワーク接続室内機・室外機が全て新スーパーリンク対応機の場合、総配線長 1500m/系統の配線が可能です(最遠長は 1000m)。ただし、総配線長 1000m を超える場合は配線径を 0.75mm² としてください。詳しくは代理店または販売店に確認してください。
- (注3) 端子台への配線は、必ず付属の丸形圧着端子(小)を使用してください。

リモート端末基板通信線

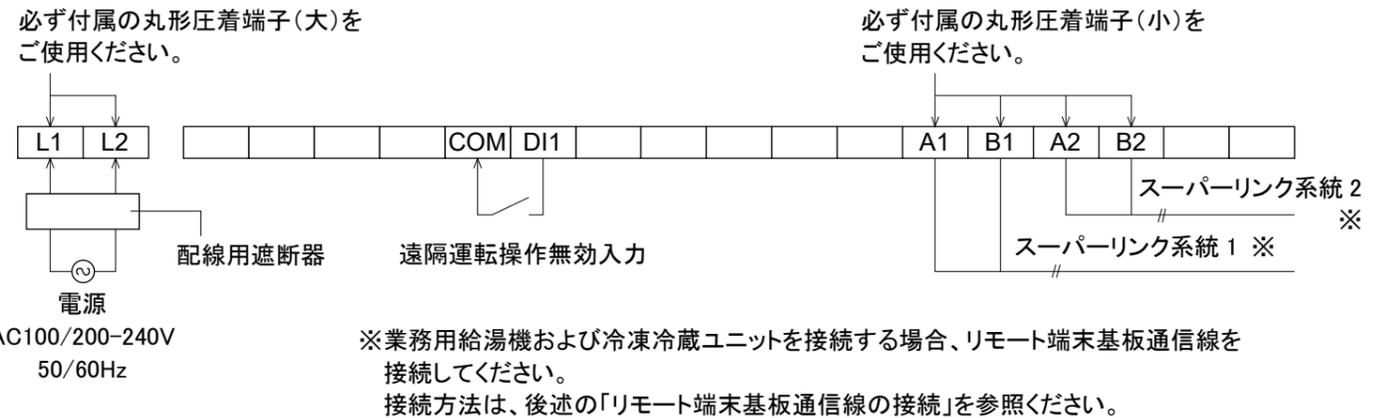
- 0.75mm²~1.25mm² のシールド線(MVVS 2 芯)
- 1 系統あたり最大 1000m(最遠長 1000m、総配線長 1000m)
- リモート端末基板通信線用アースは、3. 4の図中のアース位置②に配線してください。
- (注1) 本ゲートウェイを使用する場合は、リモート端末基板通信線をシールド線にしてください。本体側のアースは、3. 4の図中のアース位置②に配線してください。
- (注2) 端子台への配線は、必ず付属の丸形圧着端子(小)を使用してください。

遠隔運転操作禁止入力用配線, デマンド制御入力用配線

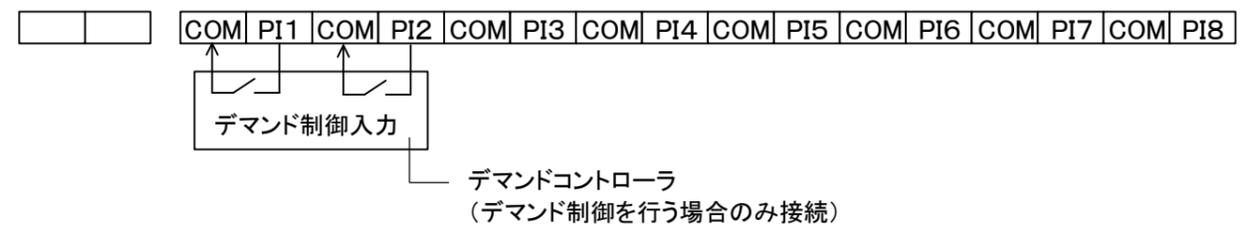
- 0.75mm²~1.25mm²
- 端子台への配線は、安全のため全て絶縁スリーブ付きの丸形圧着端子を使用してください。
- 緊急時にユーザが遠隔からの操作を遮断できるよう遠隔運転を禁止とする外部スイッチを設置ください。
- デマンドコントローラからの接点信号を接続してください。

下図の様に配線してください。

① 上側



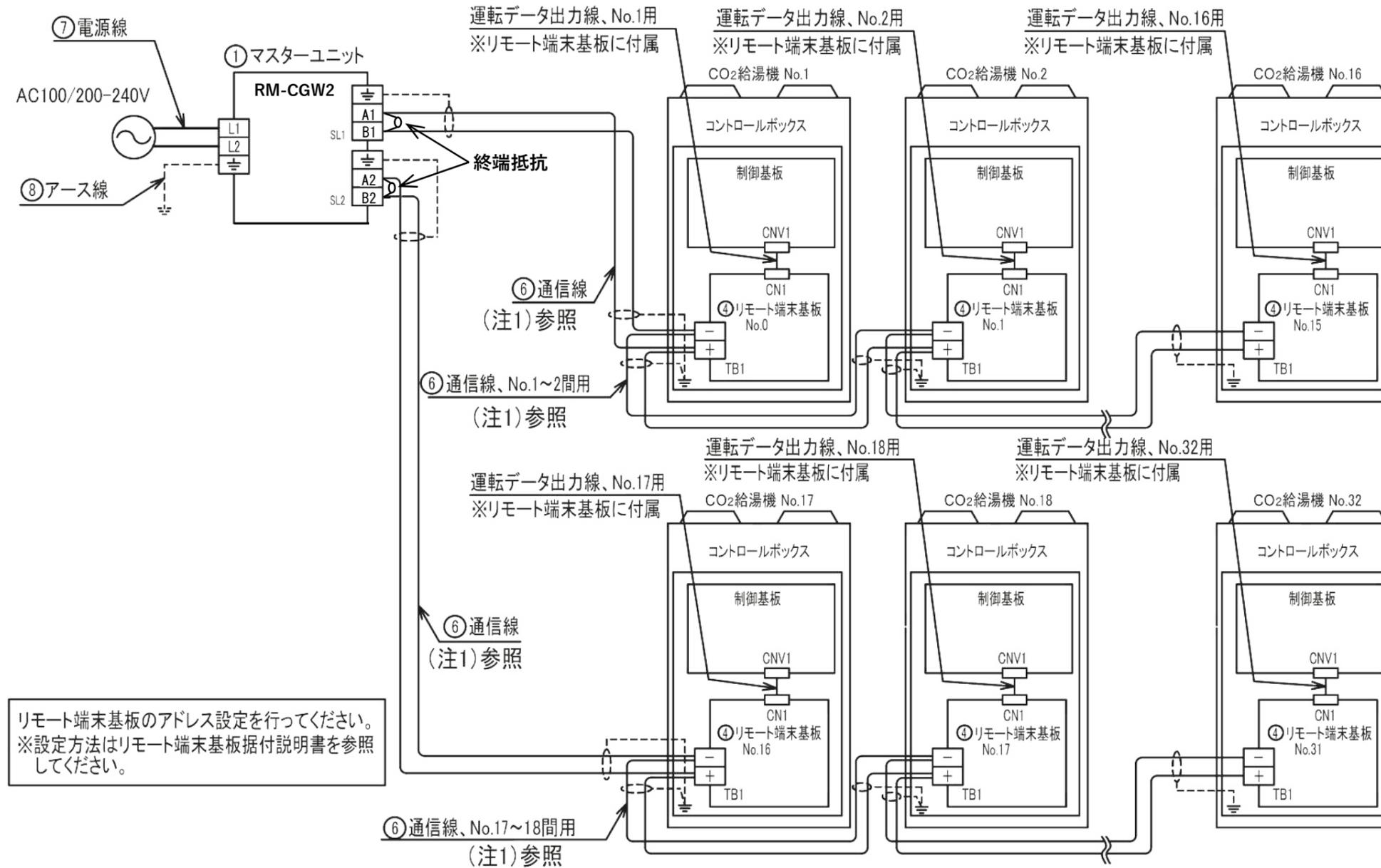
② 下側



リモート端末基板通信線の接続

下記配線図に従って電気配線工事を行ってください。

- ・本体への配線は安全のため、全て絶縁スリーブ付の丸形圧着端子を使用してください。
- ・アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
- ・電源はすべての作業が終わるまで入れないでください。



(注 1)

- ⑥通信線には極性があります。①マスターユニットの A1(+), B1(-), A2(+), B2(-)と④リモート端末基板の+, -の極性を上図の通り正しく接続してください。
- ⑥通信線の+, -信号用丸形被覆付圧着端子は、マスターユニット側は付属の丸型圧着端子(小)を使用してください。リモート端末基板側は日本圧着端子製造製 N1.25-4(RAP1.25-4)相当品を、使用してください。
- ⑥通信線のシールドアース用丸形裸圧着端子は、マスターユニット側をM3、リモート端末基板側はM5を使用してください。
- ⑥通信線を①マスターユニットと接続する箇所に付属の終端抵抗を必ず共締めして接続してください。